

姫路で見る 2020年9月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

木星と土星は南の空に、
そして、東の空には火星が
見え始めています。
明け方には、東の空に金星が
輝いていますよ。明るい惑星
をぜひ観察してみてくださいね。



- 9/2 満月 ●●
- 9/10 下弦 ●●
- 9/17 新月 ●●
- 9/24 上弦 ●●



9月15日 21時の空
※月は書いていません

9月になり、少しずつ秋の気配を感じ始める頃ですが、夜空にはまだ夏の星座たちが見えています。南の空の高いところには、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを結んでできる**夏の大三角**が輝いています。**夏の大三角**は12月頃まで夜空で見ることができます。まだしばらくはこの明るい三つの星たちと出会えますよ。そろそろ見頃を終えてしまうのが、「火星に対抗するもの」という意味を持つ、さそり座の**アンタレス**。西の空の低いところで、赤く輝いているので探してみてください。

そして、東の空には秋の星座たちが昇ってきています。秋の夜空のシンボルとなるのが**秋の四辺形**。**夏の大三角**ほど明るい星ではなく、2等星や3等星でつくられる四角の並びですが、暗い星が多い秋の夜空では比較的明るく、見つけやすい星の並びです。

その場所にいるのは、秋を代表する星座の一つのペガサス座です。**秋の四辺形**から南西へと伸びている「へ」の字をさかさまにしたような星の並びが、空を駆けるペガサス座の頭の部分になります。ペガサス座のそばにはギリシャ神話に登場する美しいお姫様、アンドロメダ座があります。秋の四辺形から北東、ペガサス座の後ろ足のように伸びているローマ字の「A」のような形の星の並びが**アンドロメダ座**です。

また、南の空の低いところにはみなみのうお座の**フォーマルハウト**が輝いています。**フォーマルハウト**は秋の星の中では珍しい1等星なので、すぐに見つけることができますよ。

夏の星座と秋の星座が共演している、9月の夜空。季節の変わり目の夜の星たちを、ぜひ観察してみてください。